

領収証

鈴木靖宏

様

No. _____

金額

¥ 41,250

但

議会報告書印刷費 25000部

令和2年 12月 1日

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

税抜金額

消費税額(%)

登録番号

GR1419

領収証

鈴木靖宏

様

No. _____

金額

¥ 41,250

但

議会報告書印刷費 25000部

令和2年 12月 20日

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

税抜金額

消費税額(%)

登録番号

GR1419

領収証

鈴木靖宏

様

No. _____

金額

¥ 27,500-

但

議会報告書印刷費 25000部

令和2年 12月 20日

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

税抜金額

消費税額(%)

登録番号

GR1419

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領収書

様

[別納引受]
区内特別基 (定) 22.5g
@73 2,222通 ¥162,206

小 計 ¥162,206

郵便物引受合計通数 2,222通
課税計 (10%) ¥162,206
(内消費税等 ¥14,746)
非課税計 ¥0

合計 ¥162,206
お預り クレジット ¥162,206



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年12月29日 15:20
担当：飯島 美知子
発行No. 201229A2718 端N34箱01
連絡先：佐野郵便局
TEL:0570-943-861

領収書

様

[別納引受]
区内特別基 (定) 22.5g
@73 102通 ¥7,446

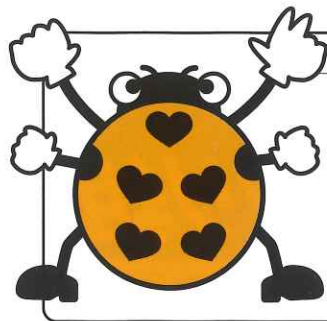
小 計 ¥7,446

郵便物引受合計通数 102通
課税計 (10%) ¥7,446
(内消費税等 ¥676)
非課税計 ¥0

合計 ¥7,446
お預り金額 ¥10,000
おつり ¥2,554



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年12月29日 15:34
担当：福田 淑子
発行No. 201229A3982 端N66箱05
連絡先：葛生郵便局
TEL:0283-85-2951



てんとう虫通信

新しい時代へ ジャストミート

令和2年のスタートはここからでした。1年を振り返って！

① 蒼生会
② 越名町 3 1 3
③ (87) 4 1 1 5
④ 昨年は、市議会議員活動10年目の年でした。本年の干支は庚子（かのえ・ね）。「庚子」が表す意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まりです。新しい年は、被災後の復興に向けた取り組みを第一課題とし、あらゆる災害にも対応出来る防災減災のシステムづくりとそれに則した組織づくりに目指します。また、財政面では復興予算を確保するとともに、不足予算の充当として、未利用市有施設の早期売却と税外収入（自主財源）の確保に努めます。



鈴木 靖宏

鈴木やすひろ

3期目の実績（一部抜粋）

採択 市民広場駐車場の有料化
(夜間・休日開放分の有料化)を提案

当局答弁 ゲート式駐車場機器の導入に当たっては、設置する上での課題を踏まえ、市民サービスを十分考慮しながら前向きに検討したいと考えております。

実行 職員負担金減額(約700万円)

当局答弁 厚生会負担金の減額ということでございます。厚生会の負担金につきましては、平成30年に1,000分の2ということになっていたところでございますが、令和元年度、今年度につきましては0.4ポイントの減、1,000分の1.6ということことで、負担金のほうを設定してございます。今後これよりも減らしていくかということでございますけれども、こちらにつきましては検討してまいりたいというふうに考えております。

消 屋上駐車場を避難場所として提案
(施設所有者との災害協定他)

当局答弁 民間施設の屋上に一時的に避難された方がいたということも聞き及んでおりまして、ただいま議員のほうからもご紹介があったところでございます。水害時には一時的な避難場所として、この屋上駐車場については非常に有効だというふうに考えておりますので、災害協定の締結に向けた協議を進めてまいりたいというふうに考えております。

決定 有償ボランティア制度
(令和2年2月議会)

当局答弁 有償ボランティア制度は、復旧に向けて加速化が期待でき、大変有用なことで考えられますが、課題もあるものと考えております。一方で、私有地における復旧活動での有償ボランティアの活用につきましては大変有効であり、被災者支援の一助となるものと考えております。今後は、他自治体の状況を調査するとともに、関係部局と協議するなど、総合的に検討してまいりたいと考えております。

開始 住民票等のコンビニ交付事業

住民基本カードとマイナンバーカードで住民票等の帳票が近隣のコンビニで取得出来る

予定 学校等給食費徴収を学校から
佐野市へ

給食費は、佐野市で徴収。学校長等教職員の再請求や家庭訪問などの集金業務がなくなり本来の業務が遂行できる

10年連続 自動販売機設置手数料
(入札方式導入)
税外収入として、令和1年度 雑入
約640万円

YouTube



チャンネル登録をお願いします

議事録には載らない 台風第19号災害への取り組み

- 早急な災害対策を議会としても検討するために、市議会議員の招集を議長に進言するも招集されず。
- 発生直後、市長に専決処分で50億大型補正予算策定を進言、約36億の補正予算執行へ。
- 災害対策本部に対し、災害ごみの地域公園への集積を提言。
- 市民から提案いただいた、パレットを利用したゴミの集積を提案。
- ドローンによる災害状況の確認を実施。
- レンタル機材の株式会社アクティオとの災害協定の締結を進言・実行。
- 後援会メンバーで災害ボランティアの実施。
- 10/19被災者向けに水道料金の減免を提案、即時決定できなかったが、10月末日実施決定。

11/3 第1回 災害ボランティア

土砂
100t
片付け

軽トラ、2tダンプ、大型ダンプ、ホイールローダーを使って大町の通り沿いの土砂を全て撤去しました。



大町通り沿い Before



大町通り沿い After



川地域の4箇所の確認を行いました。
また、その時取材に来ていたNHK、テレビ朝日、栃木テレビの取材を受け佐野市の状況を詳しく説明しました。



NHKの取材を受ける



平成元年8月に災害協定を結んだ損保ジャパン日本興亜の協力により、台風19号の水害の被害状況をドローンを使い空から決壊現場の赤坂・田島地域、西中近辺、旗川地域、船津

ドローンで被害状況確認

11/17 第2回 災害ボランティア

土砂
約200t
片付け

1ヶ月過ぎても土砂の片付けが進まない田島町会からのSOSに答えてのボランティア活動を行いました。



機動力を生かし町内中から土砂を集めてきた軽トラック部隊。



集まった土砂を大型ダンプに積み替えて、移動。



ボランティアの方々にお願いして土砂を掘り出してもらう。

12/15 第3回 災害ボランティア

1日
10箇所
片付け

佐野市からの要請で、手付かずの船津川、並木、君田、田島の個人宅等の片付けを行いました。

船津川町ブロック塀の片付



君田町田んぼ Before



君田町田んぼ After



並木町民家 Before



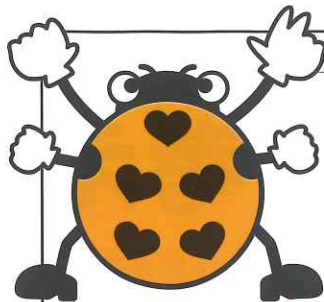
並木町民家 After



田島町民家 Before



田島町民家 After



てんとう虫通信

LINE



登録をお願いします。
コメントも一言添えていただくと嬉しいです。

新しい時代へ ジャストミート

令和2年第8回定例会 鈴木やすひろ一般質問 クリケット事業について

○鈴木靖宏 ハード事業費・ソフト事業費の支出総額について聞きたい。

○関口吉丸観光スポーツ部長 ハード事業につきましては、佐野市国際クリケット場の整備事業費となりますが、天然芝ピッチのグラウンド整備、タンDEMローラー購入、トイレ工事等でございます。平成28年度から令和元年度までの4年間で5億1187万7400円でございます。

ソフト事業につきましては、クリケットタウン佐野創造プロジェクト推進事業費から、同じく4年間で2億492万1729円を支出しております。

また、これに加えて、令和2年度はソフト事業といたしまして1億1297万2000円を予算化しております。

総事業費約8億3000万円

○鈴木靖宏 地域価値創造マネージャーの必要性と選考過程について聞きたい。

○関口吉丸観光スポーツ部長 地域にぎわいをもたらすプロジェクト事業の推進役としての役割を期待しております。民間からの公募により選考することといたしました。選考過程につきましては、民間求人サイトを活用して募集を開始し、1次及び2次選考を経て、当初応募の285名を6名に絞り、最終の3次選考の結果を受けて、秋山氏に決定いたしました。

○鈴木靖宏 地域価値創造マネージャーとの契約形態について聞きたい。

○関口吉丸観光スポーツ部長 秋山氏の選考をいたしまして、着任に向けて協議を重ねた中で、同氏より、事業を進める

に当たり、対外的な信用面の問題から、個人ではなく法人を設立して実施したいとの申出がございました。マネージャー報酬を含む事業費を秋山氏が設立した法人に補助金(9900万円)として交付いたしました。

○鈴木靖宏 この会社の決算書ができています。この決算書の提出、そして確認の状況を再質問したいと思います。

○関口吉丸観光スポーツ部長 マネージャーに就任した初年度の決算書につきましては、昨年12月に写しを提出いただき、確認をしております。

昨年度分の決算書につきましては、まだ確認をしておりますので、至急確認したいと思います。

○鈴木靖宏 決算書も見えていない。この中にも監査委員の方がいらついています。そういう人という話はしないのでしようか。ただ、帳面を並べて数字をチェックすればいいということではないです。やはりしっかりとした運営、こういったことをやるのは金銭の管理が大切なことです。私はそう思います。

○鈴木靖宏 現時点での校舎の取扱いについてはどのような方向性が出されているのか。

○関口吉丸観光スポーツ部長 具体的な利活用の実施計画をつくるには課題が多いため、現時点では、廃校舎の利活用に向けた方向性やスケジュール等は定まっております。

○鈴木靖宏 平成23年1月には、県の方針が多分出されていると思います。そして、平成25年12月末までに県への利活用計画提出ということで、当時の総合政策部長が答弁しています。やつたかやらないか、なぜやらなかったのだ、やつてどこまでできたんだ。それからこれからどうするのだというのが検証なわけです。こういったこともやらなくて

、9900万円も使って、これからどうするのだということ、この事業はどういった評価をもらえるのでしょうか、皆さんに。こういったところを意見として申し上げます。

○関口吉丸観光スポーツ部長 昨年度末時点で創業件数につきましては2件、外国人宿泊数につきましては1577人、入場料につきましては5539万6000円でございます。今年度末の目標値につきましては、創業件数については30件、外国人宿泊数については2241名、入場料については1800万円、域内消費額につきましては1億4040万円の設定でございます。

現在2件、外国人の宿泊者数につきましては、栃木県の調査を基に数字を出しております。まだ今年度は行っていない状況でございます。入場料につきましては、純粋な試合の観戦料ということだけではなく、この国際クリケット場のほうで消費された金額ということで、令和2年11月15日までの集計で86万2410円でございます。域内の消費額につきましても、手元では集計ができておりません。

約1億使って、創業件数たった4件
効果算定も
5千625万8410円

(R2年11月15日現在)

動画でチェック!



全内容を記載できませんでした。市民の皆様には全てを知っていただきたいので是非ご覧になってください。

鈴木やすひろが考える 「産業基盤の整備」

～ 10年先を見据えた3つの地域づくり構想～

国道293号沿線開発構想

産業団地の連続性&宅地分譲開発

- * 佐野田沼IC産業団地から佐野AWS産業団地間の新規産業団地整備(官民連携)
 - * 新規雇用の創出による転入者の定住や市外就労者の市内就労促進(宅地整備)
- 商工業地域から鉱工業地域への開発整備の連続性

旧50号線(桐生岩舟線)周辺再開発構想

コンパクトプラスネットワークのまちづくり
(佐野市計画あり)

- * 短期入院型の医療施設・福祉施設や複合施設(住宅・店舗・事務所等)の新設再編
- * 市道57号線の整備(実施中)と周辺の土地区画整理事業(2117坪実施中)の早期完成 と大正通りから昇栄通りの道路拡幅整備

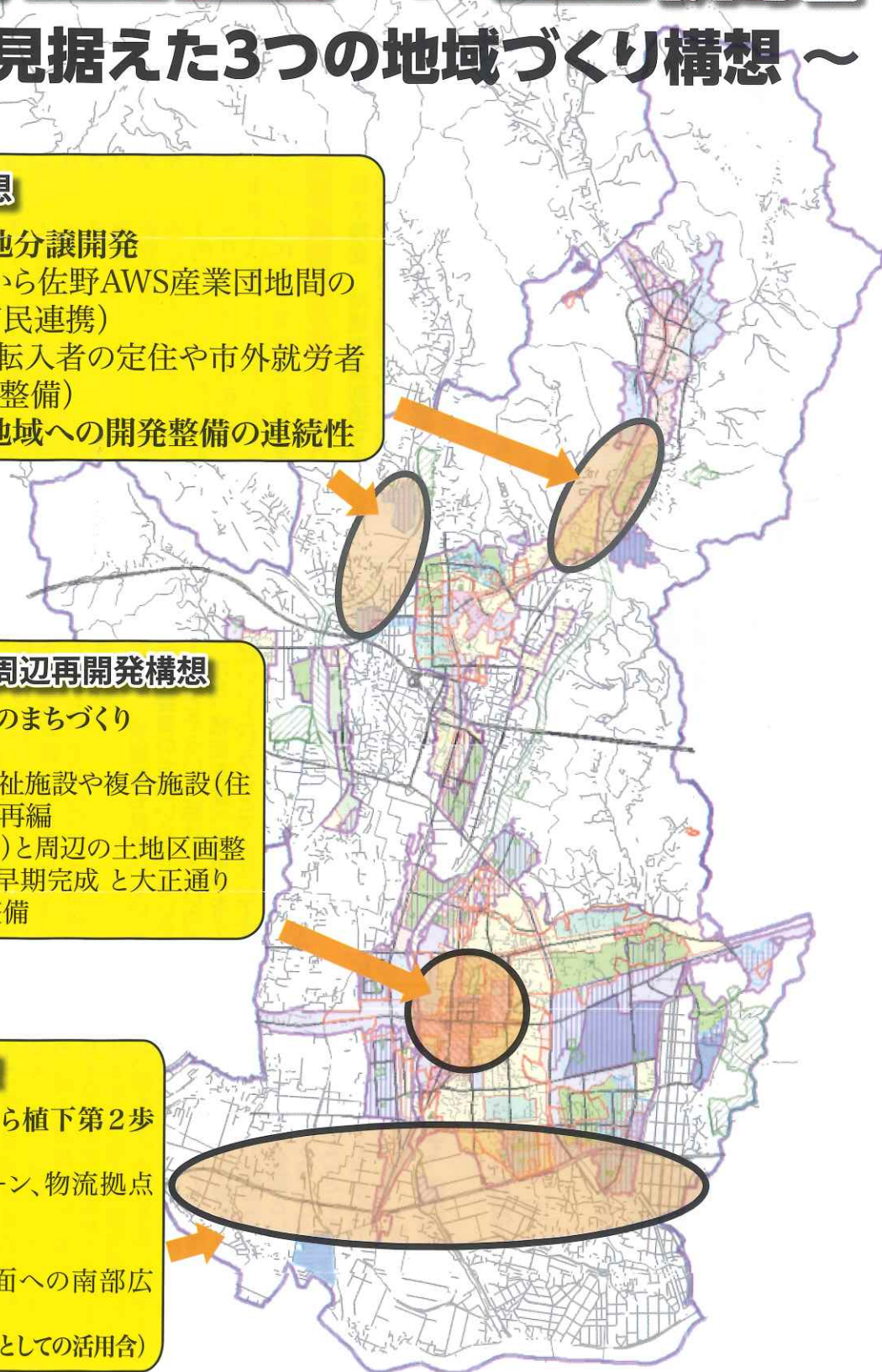
国道50号沿線開発構想

佐野古河線(東産業道路)から植下第2歩道橋までの沿線開発

- * 商業ゾーン、農業・観光ゾーン、物流拠点ゾーンの整備・誘致

新都市周辺の渋滞緩和策

- * 新都市地区から飯田町方面への南部広域幹線道路計画推進
- 渡良瀬川架橋促進(広域避難路としての活用含)



「政治は待ったなし。」

1

鈴木やすひろの通知表 (選挙公約取り組み一覧表) ◎達成、○取組中、△未達

	選挙公約実施状況	一般質問での取組	評価	担当部長答弁(佐野市議会議事録より抜粋)他
教育・子育て	教育環境と学校施設の整備		◎	
	①界小学校施設整備について 地域の人口増による緊急性のある提案	H28/9	◎	現在児童数増加に伴いまして、会議室や多目的スペースなどを改修しまして、普通教室として使用しているところでございます。児童数の増加に伴います教室の対応につきましては、老朽度調査の結果による修繕、改修等に合わせまして検討してまいります。 * 界小学校校舎増設・改修
	②タブレット端末とデジタル教科書導入に向けた取り組みについて 先を見据えた提案	H29/2	◎	タブレット型パソコンとデジタル教科書導入につきましては、今後も国の動向を注視しながら、順次準備を進めてまいりたいと考えております。 * 国によりGIGAスクール構想で、全児童生徒に一人一台
	③学校施設空調設備運用マニュアルの見直しの必要性	H30/9	◎	児童生徒の健康を一番保護していかなければならないということで、また快適に学習する環境を整えるよう、今後改正をしていきたいと考えております。
	通学路安全対策の強化	H28/12	◎	新しく交通指導員を要請する地域が出た場合につきましては、先ほど申し上げましたが、学校などと協議しながら宅地開発、進出した商業施設の影響等による交通量や児童数の状況を勘案しまして、交通指導員の配置箇所を検討してまいりたいと考えております。
	35人学級の実施	H28/9	◎	義務教育学校(小中一貫校)構想。あそ野学園開校、葛生義務教育学校建設中 * 国により実施決定
	スクールソーシャルワーカー全校配備	H27/9, H28/2	○	女性スクールソーシャルワーカー配置 * 専門職員男女各1名配置
	スポーツ指導者の確保とスポーツゾーンの整備	H30/12	○	国体後も市内の小中学生の競技力向上のため、継続的にアスレチックトレーナーを活用していくことにつきまして、検討してまいりたいと考えています。
	子供の貧困対策と居場所作り		○	* A地区こども食堂への支援者紹介
農業・産業振興	地域コミュニティの活性化	R1/6	○	数年間は、学校評議員制度、従来のものとコミュニティ・スクール、これを両方、並行して動くということから、市内に存在することが2つ制度としてございますので、それに伴う市の条例の一部改正、謝金等あるいは名称等、こうした制度の整備を年度内に進めて、議会に諮り、ご承認をいただくという計画で準備をしているところでございます。
	若手農業者の支援強化	H30/6	○	最大の収益を上げられるよう担い手農業者への農地の集約を図っております。これにより大規模圃場とすることで、機械の大型化による省力化、効率化を図るとともに、労働環境の改善や費用対効果を上げることで収益の増を目指しているところでございます
	農産物のブランド化	H30/6	○	ブランド認証品も含め、地元農産物の魅力を関係機関と連携しながらPR
	農業公社との連携強化	H30/6	○	農地の集積業務において担い手育成や耕作放棄地の解消などの連携を図っております
	企業誘致戦略の推進	H30/2	◎	S社新工場増設・M社誘致・MY社誘致中 * 官民連携の産業団地開発提案中
	地元中小企業の成長支援	H30/2	○	具体的な支援策等につきましては定まっておりません。今後策定する予定の、仮称ではありますが、佐野市産業立市推進基本計画におきまして、企業支援等は検討して参りたいと考えております。
	ものづくり技術者の育成・支援		△	

	選挙公約実施状況	一般質問での取組	評価	担当部長答弁(佐野市議会議事録より抜粋)他
健康福祉と高齢者支援	健康長寿の継続・発展へ向けた取組の推進	H29/2	○	高齢者外出支援事業につきましては、車椅子を使用している体の不自由な方を対象にいたしまして、利用料を無料として送迎のみ行っている事業でございます。今後外出支援事業の再編をする場合には福祉有償運送利用者への補助等につきましても研究していきたいと考えてございます。
	医療と介護の連携強化による在宅医療環境の整備	H29/2	○	在宅医療・介護連携推進会議につきましては、今年度は医療関係者を中心に開催いたしました。新年度は介護関係者にも参加していただきまして、具体的なテーマのもとワーキンググループを設置し、佐野市の在宅医療と介護連携に関する地域の課題とその対応策を検討してまいりたいと考えてございます。
	生活支援サービスの強化	H29/2	○	高齢者福祉タクシー券の利用方法につきましても、今後見直しを視野に入れていく必要があると考えてございます。ただいま議員から、月別、目的別方式というご提案もございましたが、県内でも少数ではございますが、買い物にも利用できるタクシー券の交付を行っている自治体もございますので、他市の状況も参考に、限られた予算の中でございますが、対応が可能か研究していきたいと考えてございます。
	認知症高齢者ケア体制の整備		△	
	学童保育と地域高齢者の共生		△	
安全安心と生活環境向上	災害別地域ハザードマップ作成	H29/9	◎	ハザードマップにつきましては、市民の皆様の安全を確保することを目的に、土砂災害警戒区域や洪水時に想定される浸水区域と浸水の深さ、また避難所や避難に関する情報のほか、渡良瀬川や秋山川、旗川に関するタイムライン等の防災のための情報を集約して作成し、昨年12月に全戸配布をいたしました。 *災害別は未達
	地域防災計画の策定	H29/12 R1/12	○	本市の事業継続計画(BCP)は、平成30年3月に策定しております。また、地域継続計画(DCP)を策定・実践することにより、地域が機能不全に陥ることなく、発災直後から戦略的に行動することで、より早く生活の再建や産業の復旧が可能となるものと考えておりますので、今後地域継続計画(DCP)の研究を進め、町会や企業・団体等とどのような連携が可能か、今後検討してまいりたいと考えております。
	防災用備蓄倉庫の分散化		△	
	防災無線内容携帯電話・スマートフォンへの配信	H29/9	○	防災行政無線の放送が及ばない区域の世帯に対しましては、個別受信機を貸与しているところでございます。豪雨時等で防災行政無線が聞き取れない場合の対応にいたしましては、市のホームページやツイッター、防災メール、ケーブルテレビ等を活用して情報伝達に取り組んでおり、加えて電話応答装置による音声での情報提供も行っております。
	河川内の堆積物除去と管理の強化	H30/9	◎	*三杉川の雑木伐採
	狭隘道路拡幅整備促進事業の推進	H28/2	◎	ギオン通り東側である市道佐野57号線が新庁舎へのアクセスを向上させるために優先度がまずは高いと判断いたしまして、現在事業化に向けた調査を進めております。なお、大正通りやギオン通りの西側につきましては、市道佐野57号線の整備効果を確認した上で、改めて地元住民とともに検討し、周辺の動向を観察しながら検討してまいりたいと考えているところでございます。 *平成25年度から実施 令和1年実績:81件併せて、0.7haの土地区画整理事業展開中
	下水道接続強化と合併処理浄化設備促進及び管理規定策定	H30/2	○	請願第2号 請願人 佐野市富岡町1437番地 有限会社 城南興業 代表取締役 金子 雅 幸ほか2人 紹介議員 鈴木靖宏「合併処理浄化槽整備の拡大に関する請願」